

南区地域福祉アクションプランの推進に期待する

土橋 敏孝

1. はじめに

2. まずは自分たちが何を大切にしようとしてきたのか確認しよう

前回の計画推進から学んだこと、積み残してきたこと

今、地域が必要としていること、住民が抱えている課題は

課題解決能力とネットワークづくり 人を大切にする地域を、豊かな関係づくりをお互い様と支え合える関係づくりを

3. 引き継ぎをキチンとしよう

これから役員改選があるところでは必ず引き継ぐこと、引退しても支援者として対応を

書類を引き継ぐだけでなく、今までの取り組みを理解してもらって引き継ぐこと
当然、重要なことを第一に、たとえば災害時の要援護者への配慮、孤立化させない等

4. 地域の関係者で共有しよう

それぞれの地区の地域関係者のネットワークで共有を

役割分担等も確認を

事業の意義ややるべき目標の確認

地域包括ケアについて理解しよう

5. 住民にきちんと伝える機会を作ろう

地域の住民に伝える機会を必ず作ろう 住民座談会を利用して

そのときは、より具体的に伝えよう また、意見も聞こう

6. 実践がわかりやすく理解できるように伝えよう

たとえば、地域の茶の間の意義や、地域の要援護者を守る意義等必要性が
確認できるよう平易に説明をして納得した上で進めよう

7. 1年1年必ず振り返り計画の進捗状況を共有し、次年度につなげよう

これからの6年間の取り組みを着実なものにするために

評価は、目標の数字を明らかにすること（いくつできたか）、進め方の方法（みんなで進められたか）、関係性の密度（仲良く地域がまとまってきたか）等